

# 京都大・3年 山岸 充さん



平安神宮で毎年行われる京都学生祭典は今年で9年目を迎える。「京炎そでふれ！」はその京都学生祭典オリジナルの創作おどりだ。学生たちがそれぞれに想い描く京都らしさをおどりに取り入れ、日々練習に励んでいる。



京炎そでふれをより多くの人に広めるためにおどり普及部長として尽力しているのが山岸充さんだ。京都の大学生の踊り手900人から、披露する場やニーズに合わせて出演者を割り振るのが仕事だ。今まで披露してきた場所は京都サングァFCや京都アストドリームスのスタジアムや清水寺など。その他にも幼稚園や高校、老人ホームなど大学の枠を越えて京炎そでふれの指導を行っている。

「京炎そでふれを通して、お客さんに楽しんでいただいで京都が活性化されたら嬉しい」と語る山岸さん。踊りを見た観客から感動したという声を聞くことがなにより喜びだ。また、踊り手自身が京炎そでふれを踊ることに誇りを持って、人間的に成長していくのが見えたときにやりがいを感じる。

## 踊りを通して京都を活性化

いた。踊っていて、どこか組織としてうまくいっていないところがみえてきたことで自分が踊り手をまとめる立場に就くことを決めた。喜びを感じる一方で、900人の踊り手を統率することの難しさやサークルとしての在り方などに迷うこともある。それでも山岸さんを踊りの普及へ突き動かすのは、観客と踊り手の一体感で得られる何にも変えられない喜びだ。

京炎そでふれは10月9日に京都学生祭典での披露を控えている。「京都中の学生が本気になって最高のものを作ろうとしているので、ぜひ京都学生祭典に来てそれぞれが何かを感じてほしい」と山岸さんは語る。京炎そでふれは京都らしい衣装や振り付けが魅力の1つだ。この機会に皆さんも京都学生祭典を訪れて京炎そでふれをご覧になってはどうだろうか。

(聞き手＝宇都宮紀美子)

### UNN 関西学生報道連盟

#### FOCUSは

神戸大学ニューズネット委員会  
同志社大学 PRESS 編集部  
NEWS 立命通信社  
関学新月通信社  
大阪大学 POST 編集部

関西大学タイムス編集部  
神戸女学院大学 K.C.Press 編集部  
京都女子大学藤花通信編集部  
京都大学 EXPRESS 編集部

の共同編集による週刊フリーペーパーです